



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社スーパーバリュー 上場取引所 東
 コード番号 3094 URL <https://www.supervalue.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 内田 貴之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 中谷 圭一 TEL 048-778-3222
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の業績 (2024年3月1日～2024年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	50,003	△2.4	△1,888	—	△1,836	—	△1,969	—
2024年2月期第3四半期	51,219	2.1	△1,764	—	△1,691	—	△1,747	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	△155.42	—
2024年2月期第3四半期	△137.89	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第3四半期	19,937	2,438	12.2	191.76
2024年2月期	18,902	4,407	23.3	347.18

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 2,430百万円 2024年2月期 4,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—		
2025年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年2月期の業績予想 (2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,057	△4.2	△1,967	—	△1,892	—	△2,518	—	△198.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	12,673,750株	2024年2月期	12,673,750株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	783株	2024年2月期	782株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	12,672,967株	2024年2月期3Q	12,672,987株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間(2024年3月1日から2024年11月30日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移し、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移する等、緩やかな持ち直しが続きました。このような中、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化等による原材料・エネルギー価格の高騰に加え、世界的なインフレに伴う金融引き締めを背景に円安基調だった円相場は、金融政策の変更等により戻りつつあるものの、米中の経済動向の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、個人消費の持ち直しや訪日外国人によるインバウンド需要等の回復が見られ、他業種も含めた価格競争に加え、光熱費等の上昇や商品メーカー等の相次ぐ値上げによる販売価格への転嫁等に伴い、物価を反映した実質賃金がプラスに転じたものの、消費者の低価格・節約志向の高まり等から、業績に与える影響は不透明な状況となっており、これまで以上に厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社では「よい商品をより安く」をモットーに、販売価格にメリハリをつけ、集客及び売上高の回復に取り組んでまいりました。また、2024年4月15日付で公表いたしました「2024年2月期 決算短信」に記載したとおり、親会社である株式会社O I Cグループ(以下、「親会社」という。)の子会社で食品スーパーマーケットの運営等を行う株式会社ロピア(以下、「ロピア」という。)とのシナジー効果の早期発揮や利益改善に向けて各種施策を引き続き進めてまいりました。

売上高については、チラシ販促・インプロにより「安さ」を打ち出し、食品スーパー(以下、「SM」という。)商品販売ではEDLP(エブリデー・ロー・プライス)を展開しつつ、販売価格をコントロールすることで、集客及び売上高の回復に努めてまいりました。また、ロピアとの共同開発によるSM改装モデル店の構築として、松原店、松戸五香店、八王子高尾店及び南船橋店をそれぞれリニューアルオープンし、国立店及び入間春日町店は改装中であります。これら6店舗の改装に伴う延べ約4ヶ月間の臨時休業に加え、朝霞泉水店、上尾小泉店、荒川一丁目店、上尾緑丘店及び中浦和店のSM店舗の閉店や松戸五香店、八王子高尾店、杉並高井戸店、国立店及び入間春日町店のホームセンター(以下、「HC」という。)売場の閉所、閉店に伴うセール及び異常気象による猛暑やゲリラ雷雨等の天候による影響があり、売上高は前年同期比97.6%となりました。

利益面では、円安等による原材料価格及び仕入原価の上昇等もある中、SM販売商品の生鮮の精肉・鮮魚においては、ロピアの加工センターから当社の全店舗へ供給の拡大を促進し、青果においては、ロピアと共同で親会社の子会社(以下、「グループ子会社」という。)から当社の全店舗へ供給を拡大し、安定供給及び原価低減を進めてまいりました。また、グロッサリーにおいては、グループ子会社からのロピアのプライベート商品の直接仕入の拡大を促進し、ロピアとの商品仕入先の共有等による商品仕入先等の見直しを継続して進め、利益改善等に取り組みましたが、原材料価格及び仕入原価の上昇への対策等のタイムラグや閉店に伴うセール等により、売上総利益率は前年同期比で0.3ポイント下回る19.6%となりました。なお、2023年6月に会員カードのポイント付与を見直し、改装店では廃止する等、収益改善に取り組みました。

経費面では、光熱費等の高騰や店舗改装経費1億24百万円の発生に加え、2023年11月8日付で公表いたしました「経営及び業務の指導等に関する業務委託契約の締結に関するお知らせ」に記載したとおり、当業務委託契約に基づく対価の発生等があったものの、店舗オペレーションの再度の見直しによる作業効率の改善と標準化を進め、徹底した経費節減に取り組んだ結果、販売費及び一般管理費は前年同期比98.5%となりました。

なお、店舗展開においては、新規出店はありますが、上記のとおりロピアとのシナジー効果を発揮することを目的としたSM改装モデル店への改装を2024年6月24日付で松原店、9月25日付で松戸五香店、10月16日付で八王子高尾店及び11月11日付で南船橋店でそれぞれ実施いたしました。また、松原店及び杉並高井戸店では、シナジー効果発揮の一環としてグループ子会社で青果販売に強い株式会社アキダイとコラボした青果テナントを出店いたしました。一方で、不採算店舗対策として、承継先と基本合意し各種条件を協定の上、協議を進めておりました複数店舗の承継について、5月29日付で朝霞泉水店、6月23日付で荒川一丁目店の地位承継がそれぞれ決定し、また、9月30日付で上尾緑丘店で基本合意し、それぞれ閉店いたしました。また、賃貸借契約満了に伴い6月9日付で上尾小泉店、10月31日付で中浦和店をそれぞれ閉店いたしました。加えて、不採算店舗内売場対策として、新たな承継先と基本合意し各種条件の協議を進めておりました複数店舗の売場の承継等について、8月18日付で松戸五香店の地位承継が決定し、また、9月15日付で八王子高尾店、10月15日付で杉並高井戸店、11月7日付で国立店及び11月15日付で入間春日町店でそれぞれ賃貸テナント契約を締結し、それぞれHC売場を閉所いたしました。なお、2024年5月20日付で公表いたしました「不動産売却に関するお知らせ」に記載したとおり、8月30日付で練馬大泉店に関する不動産の売却を予定しておりましたが、2024年7月16日付で公表いたしました「(開示事項の中止)

「不動産売却に関するお知らせ」の中止に関するお知らせ」に記載したとおり、不動産売買契約を解除し売却が中止となったため、引き続き当社が練馬大泉店の運営を行っております。

以上の結果、売上高は500億3百万円（前年同期比2.4%減）、営業損失は18億88百万円（前年同期は営業損失17億64百万円）、経常損失は18億36百万円（前年同期は経常損失16億91百万円）となりました。また、地位承継等に伴う固定資産売却益及び資産除去債務戻入益を特別利益に2億26百万円計上し、店舗閉店等に伴う固定資産除却損及び店舗閉鎖損失を特別損失に3億4百万円計上したことにより、四半期純損失は19億69百万円（前年同期は四半期純損失17億47百万円）となりました。

当社の事業セグメントは、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであります。販売商品別の売上高は、SM販売商品は429億62百万円（前年同期比100.9%）、HC販売商品は70億40百万円（前年同期比81.6%）であります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ10億35百万円増加（5.5%）し、199億37百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加、商品の減少、流動資産「その他」の減少及び差入保証金の減少によるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ30億5百万円増加（20.7%）し、174億99百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加並びに固定負債「その他」の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ19億69百万円減少（△44.7%）し、24億38百万円となりました。この主な要因は、四半期純損失の計上額19億69百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、ロピアとのシナジー効果の早期発揮や利益改善に向けて各種施策を引き続き進めてまいります。

ロピアとの共同開発によるSM改装モデル店の構築や不採算店舗対策は、概ね計画どおり進捗しておりますが、これらに伴う臨時休業や閉店に伴うセール等により売上高及び売上総利益は計画を下回っております。しかしながら、12月が繁忙期であること及びリニューアルオープンしたSM改装モデル店の売上高が順調に推移していること等から、2024年10月15日付で公表いたしました「2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信」に記載した2025年2月期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の経営環境の変化等により、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,681,263	5,688,508
売掛金	628,835	580,607
商品	3,237,133	2,067,139
貯蔵品	18,060	15,826
その他	708,047	519,185
流動資産合計	7,273,340	8,871,268
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,673,654	4,586,926
土地	1,720,293	1,720,293
その他（純額）	1,229,515	1,227,926
有形固定資産合計	7,623,463	7,535,145
無形固定資産		
投資その他の資産	197,318	142,809
差入保証金	3,293,117	2,906,439
前払年金費用	334,815	333,863
その他	185,938	153,941
貸倒引当金	△5,877	△5,877
投資その他の資産合計	3,807,994	3,388,366
固定資産合計	11,628,775	11,066,321
資産合計	18,902,116	19,937,589
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,416,761	7,449,430
短期借入金	3,540,250	3,629,949
未払法人税等	134,174	77,091
契約負債	79,301	43,640
賞与引当金	122,200	58,000
資産除去債務	—	263,611
その他	1,399,150	2,079,342
流動負債合計	10,691,836	13,601,066
固定負債		
長期借入金	2,160,054	1,570,354
退職給付引当金	199,184	187,625
資産除去債務	1,156,224	1,089,655
その他	286,830	1,050,574
固定負債合計	3,802,294	3,898,210
負債合計	14,494,130	17,499,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,513,649	3,513,649
資本剰余金	3,422,169	3,422,169
利益剰余金	△2,535,665	△4,505,336
自己株式	△355	△356
株主資本合計	4,399,799	2,430,126
新株予約権	8,186	8,186
純資産合計	4,407,985	2,438,313
負債純資産合計	18,902,116	19,937,589

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	51,219,780	50,003,649
売上原価	41,002,358	40,203,190
売上総利益	10,217,421	9,800,459
営業収入	308,229	417,015
営業総利益	10,525,651	10,217,474
販売費及び一般管理費	12,290,467	12,105,483
営業損失(△)	△1,764,816	△1,888,008
営業外収益		
受取利息	11,214	9,262
受取手数料	68,303	56,654
その他	25,119	26,064
営業外収益合計	104,636	91,982
営業外費用		
支払利息	27,837	35,855
その他	3,732	4,313
営業外費用合計	31,569	40,169
経常損失(△)	△1,691,749	△1,836,195
特別利益		
固定資産売却益	631	188,661
子会社清算益	10,071	—
貸倒引当金戻入額	13,048	—
資産除去債務戻入益	—	37,903
特別利益合計	23,751	226,564
特別損失		
減損損失	817	—
固定資産除却損	20,646	2,134
店舗閉鎖損失	—	302,282
特別損失合計	21,463	304,417
税引前四半期純損失(△)	△1,689,461	△1,914,047
法人税、住民税及び事業税	58,357	55,914
法人税等調整額	△388	△289
法人税等合計	57,969	55,624
四半期純損失(△)	△1,747,430	△1,969,671

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

当社の事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

当社の事業は、流通販売事業並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	420,115千円	560,739千円